



vol.93

2024年
5月31日
発行

日本山岳会

「高尾の森」



— 広針混交の豊かな森づくり活動 —

会員数：個人 169 名 法人 12 社
(2024 年 4 月末現在)

近年桜の早咲きの傾向が続いていますが、
今年は3月に入っても気温の低い日々が続き、
桜の開花予想は大幅に遅れ昨年より半月遅い開花となりました。
おかげで今年の植樹祭は桜の季節となりました。



2024 年 4 月 植樹祭 植栽地



カタクリ

ユリ科の多年草。

雪どけ後の早春の明るい林床に大群落をつくる代表的な野草のひとつ。

地下茎の鱗茎（りんけい：球根のようなもの）の姿がクリの片割れに似ることから
カタクリと名づけられたなど、名前の由来は諸説ある。

絵：横川 信由

<http://JACtakao.net>



春の植樹祭、 新たなフィールドからの実施報告

フィールド担当 早川憲也



樹種	本数
イタヤカエデ	40本
ヤマザクラ	40本
イロハモミジ	40本
ケヤキ	40本
ホオノキ	40本
コナラ	40本
合計	240本

参加者	大人	子人	合計
一般	14名	2名	14名
法人会員	61名	3名	64名
個人会員	52名	-	52名
合計	127名	5名	132名

植樹祭の当日、2週間前から好天を約束してきた天気予報が見事に当たり、更に昨年を上回る早さで桜が咲くかと思いきや3月後半に突然の冷え込みが続き、4月14日と最も遅い日程にも関わらず満開のヤマザクラの中で植樹祭が実施出来ました。今年の植樹祭は新天地「板当エリア」で初めての植樹祭となりますが、さすが新天地！！準備も普段とは勝手が違い進行スケジュール等を中々決められず、参加予定の皆様にはヤキモキさせながらのスタートとなりました。

板当エリアの植樹祭準備では、新天地ならではの取り組みを色々と検討してきましたのでいくつかをご紹介します。

- 1 植樹祭の開始時刻を30分早め懇親会を1時間遅らせ、より植樹にウェイトを置いた。
- 2 いつも購入している苗木についても従来は持ち運びに便利な裸苗でしたが、今回は乾燥したガレ場での植樹に対し活着率で有利なポット苗に変更した。
- 3 一般参加者を含め広く小下沢に親しんでもらうため、板当への急こう配のアプローチへの配慮として、ベースで楽しむイベントを木工班メンバーが中心となり企画した。
- 4 初めて植樹祭に参加する未だ植樹経験のない個人会員の皆様にも植樹を体験してもらう。
- 5 小下沢に自生する実苗を採取し（山引苗）、ポットで育て板当の植栽地に植樹する。（今年の植樹祭には間に合いませんでしたので来年に期待です）

初めての試みも展開が遅れたことが影響しドタバタしながらの開催となりましたが、参加者の皆様の熱意で何とか無事に（時間は少しオーバー）スケジュールを進行することが出来ました。一方ベースでは、ベースでのイベントを準備して頂いた皆様、食事提供の準備をして頂いたキッチン班の皆様、そしてベースのイベントに参加された皆様も好天の中、それぞれの植樹祭を満喫して頂けたことと思います。植樹の後は例年通り、ベースにて豚汁、山菜の天ぷら、各種惣菜の他、法人の皆様方から頂いた差し入れの品々を堪能しながらの懇親会、例年より時間は短くなりましたが色々あった分密度の濃い会話が飛び交ったことと思います。

最後に、新たなフィールド「板当エリア」初の記念すべき植樹祭を無事に終了できたのは、準備に携わった方々、参加頂いた方々皆様の功績であります。ご参加いただいた皆様に感謝申し上げますと共に今後も板当エリアでの植樹活動に更なるご支援を賜りたく、鋭意準備致しますので宜しくお願い申し上げます。



数年後の苗木の成長を楽しみに

伊藤ハム米久ホールディングス(株) 松永貴之

4月14日(日) 好天の中、個人・法人会員の皆様総勢100名を優に超える方が集まり、その内弊社は10名参加させて頂きました。

小下沢ベースにて受付・朝礼後、各班先発・後発隊に分かれて植栽地に出発しました。途中で山桜の花吹雪が舞い落ちて、ながら映画のワンシーンをしているような感動を覚えました。植栽地は想像以上の急斜面で足元は小石が多く、植樹どころか足場を踏み固めないと立っているのもやっとという状況でした。それでも必死に穴を掘り、イロハモミジやカエデ等の苗木を植え、ツリーシェルターを設置し何とか無事に植樹を完了、ホッとした思いでした。数年後、苗木が立派に育つ日を楽しみに下山しました。

ベースでは山菜や芋の天ぷらの揚げたてを堪能、旨味たっぷり



りの豚汁や弊社提供の「グランドアルトバイエルン」も振る舞われました。また、たくさんの飲み物も頂き、皆あふれる笑顔で会話が弾み大いに親睦が深まったものと思われます。このひと時を楽しみに、この会に参加されている方も多いのではないのでしょうか？

日頃は、オフィスの閉ざされた空間で過ごすことが多い為、高尾の森の大自然の中での時間は非常に新鮮であり、貴重なひと時となりました。

翌日、翌々日の筋肉痛も心地よい思い出に感じられました。今後は毎月の定例作業に加え、秋に予定されている紅葉鑑賞会にも是非参加させて頂きたいと、皆で今から楽しみにしております。

最後になりますが、今回の植樹祭のご準備、当日の運営に携わられたすべての方々に心より御礼申し上げますと共に「高尾の森づくりの会」の益々のご発展を祈念申し上げます。

今後は植栽地での活動にもチャレンジ

(株) トヨタ カスタマイジング&ディベロップメント

こんにちは！(株) トヨタ カスタマイジング&ディベロップメントです。当社は昨年の植樹祭より参加。今回11名参加のうち、初参加が9名の法人会員です。

今回、会の皆さまのサポートで無事に植栽を終える事ができましたが、初参加者のほとんどは植樹と聞いて、平地に穴を掘って苗を植える程度と考えていました。ですが、実際は急斜面、荒れた植栽地、と想像とは全く異なるものでした。まずは植栽地までの急登で早速息が上がってしまいましたが、会の皆さまの適切なガイドとお子様の元気な「ヤッホー」の声に元気付けられようやく植栽地へ到着。急峻な植栽地を目の当たりにし、ここで植栽ができるだろうか？と不安になりましたが会の皆さまより土掘り、地ならし、柵の立て方など丁寧なご指導を頂き、無事に植栽を終える事ができました。山桜を見ながら新緑の気持ちよい風にあたり達成感に浸りました



が、今度は急な下りです。やっとの思いでベース小屋へ到着。懇親会での、会の皆さまの手作りの豚汁・お惣菜、法人会員様からのご提供の品々など、大変美味しく頂きました。各種催しにも興味深く参加させて頂

きました。

この様に会の皆さまのサポートにより無事に植樹を終える事ができた当社ですが今後は、植樹した木が大きく育つことを見守りながら、植栽地での活動にもチャレンジと稲垣(当社代表)が申しておりますので、定例作業にも出来るかぎり参加させて頂きたいと思ひます。

今回の植樹祭を通じ大変貴重な経験と、様々な方と交流をさせて頂きました。あらためて会の皆さまに御礼申し上げます。



木を切ることが好きな人だっ



機械作業班

高尾の森づくりの会に入会して4年目、機械作業班の一員になって丸1年。2丁差し作業から機械（チェーンソー）作業がメインの活動内容にかわりしました。

ここで機械作業班に移ってからの1年を振り返り、普段の作業ではあまり交流のない他のメンバーの方に、真剣に木と向き合う少し強面（こわもて）の「機械作業班」の活動内容を紹介していきます。

機械作業班 小林道太

定例作業日の始まりは

月1回の定例作業日。まずは皆さんの利用する2丁差しをはじめ色々な道具の準備から始まります。

そして、機械作業班が一番大切にしている、その日使う「チェーンソー」「刈払い機」などの機器をベストな状態にする「刃の目立て（刃研ぎ）」作業、「混合ガソリン」「オイル」の準備。特にチェーンソー刃の目立てはその日の作業に大きく影響するので、ひと刃ごとに丁寧なヤスリがけを行います。そしてエンジンの試運転。今日の作業も安全第一!!



作業エリアへはまさに「歩荷」

他の班と同様にその日の作業エリアへの移動はひと苦勞。チェーンソー・ロープ・フェリングレバー・混合ガソリン・オイル、作業内容によってはチルホール*や機械式ウインチを各自が担いで作業エリアを目指します。

まさに「歩荷」そのもの。最近の作業エリアは片道1時間20分程。作業開始前にはひと汗かいています。



*チルホール：木を引っ張って倒す方向をコントロールしたり、他の木の枝に引っかからないようにする手動式の小型ウインチ。

伐採、会の次の活動につながる！

作業エリア到着後はひたすら木と向き合う。安全に効率よく、掛かり木にならない様に。先輩メンバーは次々と担当エリアの目的の木を倒していく。感心しきり。私はまだまだチェーンソーの怖さと対峙しながら木に向き合う日々が続きます。

作業エリアでは、主に次の時期の植樹のために、木が大きくなり互いに込み合った場所を間引くなどの間伐を行っています。これらは会の活動への一助になっています。



技術と知識向上のために

冬季になると定期的に行われる「機械作業実践講習」。会のメンバーでチェーンソーを扱う資格者への講習を行っています。最近では、通常の伐採とチルホールを使つての伐採を体験しました。

講師はもちろん、機械作業班の先輩メンバーです。チェーンソーの刃の目立ての指導からロープの結び方やチルホール利用の目的など、興味深い内容の説明を理解しながら共に技術と知識の向上に努めています。



こんな時も機械作業班が活動

真冬の定例作業日では降雪後に登山道を塞ぐ倒木があり誰もが往来に苦慮すること。そんな時、機械作業班がチェーンソーで次々に倒木を処理しています。

活動日に気持ち良く道具が使える様に、道具の天日干しと点検を定期的に行う「棚卸し」。安全に作業が行われる様に道具班と協力して行っています。道具は大切に！

また、機械作業班で扱っている林内作業車「やまびこ*」はイベント時のアトラクションに大活躍!! 会の広報役にも活躍の頼れる1台です。本来は山の中で使う作業車ですが…。



*やまびこ：斜面の倒木処理など人力では難しい作業を補助する、林内作業車。

2月活動日記

- 一時中断していたベース直前の林道補修工事がだいぶ進みました。
- 板当の植栽地は4月の植樹祭に向けて仕上げの段階。石落としや作業道作りが行われました。
- 2015D エリアでは落石防止ネットの張り直しが行われました。



ハンドパワーです



林道開通までもうすぐ！



2月というと雪ですね

ここは石だらけ……



ホッと
する
お昼の
ひと時



もくじ

春の植樹祭、実施報告……………	02
植樹祭に参加して……………	03
木を切ることが好きな人たち……………	04
2月活動日記……………	06
3月活動日記……………	07
4月活動日記……………	08
安全作業のすすめー熱中症ー……………	09
横川信由さんを偲んで……………	10
「高尾の森と生き物たち展」開催報告……………	10
新会員紹介……………	11
事務局からのお知らせ……………	12

3月活動日記

● 定例作業日の朝、ベース小屋の中であんな作業中？ それは小屋の中を土足で表々裏を通過できるようにしていたのです。これは便利！

● 板当では2月に引き続き作業道の整備を実施し、荒れた急斜面に立派な作業道が完成！



これは何??

小屋の中通路完成



C 班出発前



今日の作業は……



作業道完成！



4月活動日記

ねえねえ、これいいでしょ

● 植樹祭を翌日に控え植栽地は最後の仕上げ。植樹位置のポールの設置や区画の区切り、ツリーシェルター設置の予行演習などが行われました。

● 作業終了後ベース小屋前で1月に亡くなられた横川さんを偲び、横川さんが愛用していたギターで演奏会が行われました。



ツリーシェルター



ロープの取り出し方を間違えるとこうなります



やっと先が見えた、ホッ

植樹祭の前日で残業?でした



横川さんが愛用していたギター



本山さん



大塚代表

安全作業のすすめ……その5 —熱中症—

厚生労働省のWebサイトによると、「熱中症とは、高温多湿な環境に長時間いることで、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態」を指します。これは、①激しい運動等により体内の熱産生が多くなった ②暑さから体が慣れていない ③疲れ・寝不足・病気などで体調が思わしくない といった「からだの状態」と ④気温や湿度が高い ⑤風が弱い ⑥日差しが強い といった「環境要因」に分けることができます。

これらの要因が重なることで、体温調節機能が乱れ、体外への熱放散がうまくできなくなり、体温が上昇します。また、急激に大量の汗をかくと、体内の水分と塩分が失われ、体液のバランスが崩れてしまいます。結果、筋肉や血流、神経などに影響が出て、けいれん、めまい、失神、頭痛、吐き気などの症状が現れます。

■熱中症の予防方法

前述した「からだの状態」と「環境要因」の2大要因の予防方法を考えてみましょう。

①は私たちの活動内容からどうしても避けることが難しいため、夏場の活動では腹八分目ならぬ作業八分目を目指し、いつもより筋肉を酷使する作業を避ける、もしくはゆっくり作業する等を心がけます。

②は日頃からウォーキング・ジョギング、サイクリング、筋トレ・ストレッチ、入浴等で暑熱順化（体が次第に暑さに慣れて暑さに強くなること）し、皮膚血流量や発汗量を増加する。

③はとにかく野外活動前の体調管理に限らず、日頃からの適度な運動が重要です。

環境要因の④気温や湿度が高い ⑤風が弱い ⑥日差しが強い については、気温・湿度が高く、風の弱い日は日射下の作業を避ける、化繊素材等汗の蒸散し易く、風通しの良い服装にする、休憩をこまめにとりからだの熱産生を抑える、水分や塩分の補給を行う等の予防を実施します。

④については、暑さ指数（WBGT）の利用が有効です。WBGTは、以下の計算式（日射下）で求めることができる指数です。

$$\text{WBGT 値} = 0.7 \times \text{自然湿球温度} + 0.2 \times \text{黒球温度} + 0.1 \times \text{気温（乾球温度）}$$

やや難しい計算式なので、以下の日本スポーツ協会が

2019年にまとめた「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」の気温を参考にしてください。

暑さ指数(WBGT)	熱中症予防運動指針	気温(参考値)
31以上	運動は原則中止 ●特別の場合以外は運動を中止 ●特に子どもの場合には中止すべき	35℃以上
28以上 31未満	厳重警戒 (激しい運動は中止) ●熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける ●10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う ●暑さに弱い人は運動を軽減または中止	31℃以上 35℃未満
25以上 28未満	警戒 (積極的に休憩) ●熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する ●激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる	28℃以上 31℃未満
21以上 25未満	注意 (積極的に水分補給) ●熱中症による死亡事故が発生する可能性がある ●熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する	24℃以上 28℃未満
21未満	ほぼ安全 (適宜水分補給) ●通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である ●市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意	24℃未満

※暑さに弱い人：体力の低い人、肥満の人や暑さに慣れていない人など
(公財)日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」(2019)から一部改編

この表から判るように、気温24℃以上は注意です。5月頃から天気が良ければこのくらいの気温になります。また、林内作業や生い茂った場所の下草刈り等は⑤の風が弱い要因が発生しやすく注意が必要です。

■熱中症の対処方法

熱中症を疑う症状が見受けられたらまず意識障害の有無を確認します。

●意識障害の有無：応答が鈍い、言動がおかしい、意識がない → 医療機関への搬送

●涼しい場所への退避

●水分が摂取できるか？ → できない場合は医療機関への搬送

水分・塩分の補給（利尿作用のあるカフェインが含まれる飲料摂取は避ける）

脱衣と冷却（首回り・手首・胴回りの解放、皮膚と服装間の換気促進、冷たい水を使った冷却）

●症状改善の有無 → 改善しない場合は医療機関へ搬送
経過観察（涼しい場所での休息を継続し、小下沢ベースへの下山を検討する）

近年、夏場の気温上昇が顕著です。普段から熱中症対策を意識し、安全な活動をお願いします。

お知らせ

★6月の定例活動後、会で所有しているポイズンリムーバーを使った応急処置講座を開催します。参加希望の方は各班リーダー、または森中(hiroharu.morinaka@gmail.com)まで。

★7月にハチ対策講座開催を検討しています。こちらは改めて案内いたします。



横川信由さんを偲んで

功刀正仁



横川コレクションの一部

横川さんの突然の訃報を受け、驚きと深い悲しみでいっぱいです。横川さんは2002年に入会し森づくり作業以外に森の動植物、昆虫や岩石などを収集され「横川コレクション」として展示会などで展示。また「高尾の森通信」でもお馴染みの草花や昆虫・鳥などの水彩画を愛し高尾の森を慈しみ、自然環境の保全、会員外の人びと特に子供達への教えなど業績の数々は会の発展に大きく貢献したことは衆知の処であります。お酒をこよなく愛し高尾の森を語るお姿が偲ばれ、私たちのだれもが横川さんの人間味あるひととなりに接し、親しみとともに深い尊敬の念を抱かずにはいられません。心から会の発展と自然環境の啓もう活動に感謝を捧げ、謹んで横川さんのご冥福をお祈り申し上げます。合掌

今年になり「横川コレクション」を引き継ぐ募集があり、自信はなかったのですが手をあげました。実は1月25日に横川さん、白井さん、会田さんをお迎え4人での引継ぎを某居酒屋で予定していましたが横川さんは現れず、何度か電話を掛けたのですが出られなく、まさかこの日に亡くなったとは後から分かったことが悔やまれます。

横川コレクションは横川さんの方針で直に触れられるように展示している為、痛みがひどく、これからも維持発展していく為には補充更新したいと考えています。動植物の情報、動植物昆虫等の見本採取など、多くの皆様のご協力をお願いいたします。

「高尾の森と生き物たち展」開催報告

斉藤俊彦



3月25日(月)から31日(日)までの7日間、高尾599ミュージアムにて「高尾の森と生き物たち展」を開催しました。土日には屋外でヒノキの丸太切り体験を実施。そこにやってきたお父さんと小さな娘さん。のこぎりを娘さんが一人で引いていると、お父さんが手伝おうとつい手を出して。すると娘さんは一人できると断固として拒否！ なんと頼もしい光景でした。日曜日は東京の最高気温が3月の観測史上1位を更新し599ミュージアムでは何と32℃の表示が！ 本当に丸太切りは汗だくでした。

展示会場では最新の動物カメラの映像を上映し、高尾の森の豊かな生き物たちをご覧いただきました。ツキ

ノワグマはバッチリ映像に映っていて、またカモシカやイノシシ、シカなどなど、迫力ある映像で最近の高尾の生態が変わっていくのがわかります。積み木コーナーでは、子供たちが積み木を積み上げては壊した積み木上げて、の繰り返しで楽しんでいました。その横には親御さんたちの優しい目がありました。パズルで遊ぶコーナーでは、小学生が中心に楽しんでいましたが、中には子供より夢中になっているお母さんが1時間以上頑張っていて、できた時の嬉しそうな顔が特に印象的でした。

この展示会であまり知られていない高尾を見て触れて、楽しんでいただけたと思います。

新 会員紹介

藤島英一です



嬉しい若者扱い!?

こんにちは。A班、「のっぽ」の藤島英一です。

2024年の新年会の日が初回参加で、某事務局長に羽交い絞めで会場に連れて行かれ(笑)、楽しく入会となりました。新年会では、人生の先輩方々から山の魅力や感謝、チェーンソーやロープワーク、動植物や環境のこと、課題などさまざまな刺激的なお話をさせていただきました。

会社ではジジイ扱いですが、山では若者として扱われたことが嬉しかった～。若者としてお役に立てそうですか? 夏にはチェーンソーを学び、他の資格にも挑戦していきたいです。新人として、若者として(笑)どんなことでもやりますのでご用命ください。褒めていただけるといい気になって成長していくと思います(身長ではありませんよ～)。アフターを含めてどうぞよろしくお願いいたします。

池田桂です

念願の森づくりに



私が、高尾の森づくりに参加したいと思った切っ掛けは、小学生だった子ども達と参加した、京王電鉄主催の親子植林体験でした。元来、自生している樹種を植林して、本来の生態系を取り戻す取り組みにとっても感銘を受けたのを、覚えています。学生時代は、森林生態学を専攻していた事もあり、高尾の森づくりに関わりたいと、それ以来、ずっと夢見ていました。しかし、当時は、介護の仕事と育児で生活に余裕が無く、いつかそのチャンスが来ないかと待ち侘びていましたが、今になり、ようやく、育児もひと段落したので、チャンス到来となった次第です。ただ、介護業界も人材不足もあり、スケジュール調整に苦労しているところです。

三尾幸吉郎です

東京の山・川・海の生態系に関心を持ち



新入会員でC班に配属された三尾(みお)でございます。神奈川県出身で港区芝浦在住の65歳男性です。

入会しようと思った動機は東京の山・川・海の生態系に関心を持ったからです。私が暮らす芝浦からはレインボーブリッジを挟んでお台場が見渡せますが、そこで育ったアユの稚魚が、小下沢の下流にあたる多摩川を遡上するなど、高尾との結びつきがあるようです。また動物班でも少し活動させていただいております。なお芝浦には多くの海鳥が飛来するため、その様子をInstagramで紹介したりしています。植物・動物の知見はほとんどございませんが、長らく研究職をしていたため統計処理・回帰分析や講演用のパワポ作成は得意分野です。お役に立てることがあればご連絡ください。皆さまのご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

和泉昭宏です

森林や木に触れていたい



化学企業に就職して以来、ケミカルエンジニアとして樹脂開発や海外展開に携わりました。最近では、化業界の地球温暖化対策の環境政策支援、日本技術の環境貢献など、欧米への発信や情報交換に明け暮れていました。40年以上も石化事業に携わっていたので、定年後は、非化石資源・エネルギーなど地球温暖化防止貢献に関わって、「森林や木」に触れていたいと考えておりました。

そうしたところ、企業在籍中に存じ上げることになった元農林水産省・長野麻子様の森づくりトークを聴こうとして高尾に来たことが縁で、「高尾の森づくりの会」に参加することになりました。植林や伐採活動はちょっと無理そうなので、小下沢林道歩きの延長で、できそうなことから参加できればと思います。よろしくお願いします。

若村勝昭です

高尾に不思議な縁を感じ



高尾駅駅前に住んで20年になります。時折、高尾山に登って緑豊かな山容に癒されています。599ミュージアムで森の会の展示を拝見し、その活動に参加したいと入会させていただきました。偶然ですが、私の日本山岳会の会員番号は「15599番」です。これは「行こう、599」と読めます(高尾山の標高は599mです)。

高尾駅前の住まい、趣味の山登りの高尾山、我が家のお守り「高尾薬王院」、山岳会の会員番号、そして入会させていただいた高尾の森づくりの会と不思議なご縁を感じます。ご縁が続けばよいと思っています。どうかよろしくお願いいたします。

活動記録

2/10	定例作業（会員59名、法人2名、体験1名）
2/24	機械実践研修 小下沢218林班 （研修者2名、講師2名）
3/2	森の研修:上の横道と植栽地(15名)
3/9	定例作業（会員62名）
3/25	高尾599ミュージアム展示 ～ 31（来場者723名、丸太切体験99名、会員延べ54名）
4/13	定例作業（会員58名、体験1名）
4/14	植樹祭（会員52名、法人64名、一般16名）
4/21	京王親子森林体験スクール 1回目 （親子37名、京王6名、会員26名）

会員動向

入会：ようこそ

菅野滉希さん

退会：お疲れ様でした

横川信由さん、伊藤由紀子さん、大森千高さん、岡田常義さん
川原洋志さん、野中義昭さん、廣瀬英彰さん、吉田修さん

ベースまでの林道復活！

第1ゲート西側の林道補修工事が2024年3月末完了し、林道が開通しました。ただし、車両の乗り入れは資材運搬及び緊急車両に限定します。



寄付金

2024年3月末に（株）京王百貨店様より多額の寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

大塚代表の活動で見つけた
ちょっといい話

当会の説明を行う際に、書面やWeb上の資料に加えて動物カメラで撮影した動物生態やドローンで撮影した作業動画を見て頂き、当会活動に対するご理解を更に深めて頂いています。日頃から資料や動画作成に関係する会員の方々には、心から深く感謝しています。

活動実績と予定

5/11	定例作業
5/11,12	第33回みどりの感謝祭 （高尾599ミュージアム）
5/19	京王親子森林体験スクール 2回目
6/2	森の研修（小下沢の樹木観察）
6/8	定例作業
6/9	八王子環境フェスティバル （多摩みらいメッセ）
6/9	京王親子森林体験スクール 3回目
6/15	2024年 総会
6/16	滋慶学園TCA 森林体験教室
6/30	刈払機講習会
7/13	定例作業

幹事会報告

（詳細はホームページ会員専用ページを参照ください）

◆ 2 月

報告事項 2024 八王子環境フェスティバル出展、植樹祭準備状況、東京神奈川森林管理署訪問、他

◆ 3 月

協議事項 2024 年度作業活動計画、リーダー会の今後の運営について、他

報告事項 今後のイベント計画、植樹祭準備状況、会計規則の見直し、他

◆ 4 月

協議事項 4 月定例作業実施予定、2024 年植樹祭要綱、他

報告事項 国有林林道への車両乗り入れ、高尾のクマ映像のTV 放映、他

訃報

横川信由さん（90 歳）が1月25日 逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

お詫びと訂正

2月29日発行のvol.92 12 ページ「会員動向」のお名前に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

[誤] 若林勝昭さん

[正] 若村勝昭さん

編集後記



ゴールデンウィーク（G/W）恒例の春山は北アルプスの立山に行ってきました。天気の都合で出発予定日前日に日程変更し、そのため山行の3日間がこの会報誌の編集期間に丸かぶり。なので帰宅後のG/W後半はどこにも出かけず、引きこもりの編集作業となりました。でも、立山は天気に恵まれ最高でした。（大島徹）

